

2021年3月期 第2四半期決算発表 補足資料

2020年10月30日  
日本ガイシ株式会社

[セグメント間売上消去後]

□ は'20/9公表値

□ は'20/9公表値

	2020年3月期 第2四半期累計		2021年3月期 第2四半期累計		前年 同期比	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	2,198	100%	1,950	100%	△11%	4,420	100%	4,200	100%	△2%
<海外売上高合計>	<1,552>	71%	<1,362>	70%	△12%	<3,098>	70%	<3,000>	69%	△3%
営業利益 (率)	316 (14%)		100	6%	△63%	550 (12%)		330	10%	△24%
エネルギーインフラ事業 <sup>※1</sup>	206	9%	200	10%	△7%	433	10%	430	10%	△1%
営業利益 (率)	△24 (-)		△25	(-)	-	△49 (-)		△45	(-)	-
セラミックス事業	1,282	58%	980	50%	△23%	2,518	57%	2,100	52%	△11%
営業利益 (率)	309 (24%)		60	7%	△79%	535 (21%)		250	15%	△38%
エレクトロニクス事業	283	13%	270	14%	△5%	554	13%	570	13%	+3%
営業利益 (率)	4 (1%)		5	(2%)	+53%	0 (0%)		15	(4%)	-
プロセステクノロジー事業	427	19%	500	26%	+19%	915	21%	1,100	25%	+20%
営業利益 (率)	27 (6%)		60	(13%)	+143%	64 (7%)		110	(10%)	+79%

※1 21年3月期より「電力事業本部」を「エネルギーインフラ事業本部」へ改称

	2020年3月期		2021年3月期		前年 同期比	2020年3月期		2021年3月期		前期比
	売上高比	構成比	売上高比	構成比		売上高比	構成比	売上高比	構成比	
経常利益	297	(14%)	100	(6%)	△59%	520	(12%)	340	(10%)	△17%
親会社株主に帰属する 当期純利益	212	(10%)	50	(4%)	△66%	271	(6%)	210	(6%)	+3%
ROE	-		-			5.8%		6.0%		
1株当たり純利益	66.02円		22.96円			84.73円		88.45円		
配当金(配当性向)	25円		10円			50円(59.0%)		30円(33.9%)		

為替レート(円/USD)

109

107

109

106

為替レート(円/EUR)

121

121

121

118

設備投資

499

23%

290

15%

△42%

940

21%

580

13%

△38%

減価償却費

189

9%

217

11%

+15%

396

9%

460

11%

+16%

研究開発費

106

5%

107

5%

+1%

229

5%

230

5%

+0%

第2四半期累計期間の要点・・・対前年同期比減収・減益(9月公表値から利益を上方修正)

- ① 事業別業績概況(売上高、営業利益)
- 【エネルギーインフラ】・・・減収も赤字は前年同期並み  
・がいし 国内需要は低調も、費用削減等により赤字を縮小。  
・エナジーストレージ 国内外共に出荷は低調。
- 【セラミックス】・・・減収・減益  
・自動車関連 中国市場を中心に自動車販売や生産が回復しつつあるものの、新型コロナウイルスによる世界的な自動車販売台数の減少が影響し、大幅な減収・減益。
- 【エレクトロニクス】・・・減収・利益は前年同期並み  
・金属 車載向け需要が減少し、減収・減益。  
・パッケージ 携帯マクロ基地局投資の停滞を背景にパッケージ需要が減少し、減収・赤字。
- 【プロセステクノロジー】・・・増収・増益  
・HPC ※2 3D NAND向け投資等の増加を背景に需要が増加し増収・増益。
- ② 為替影響: 売上高△12億円、営業利益△7億円  
前年同期 109円→当期 107円/USD、121円→121円/EUR
- ③ 特別損失 固定資産減損損失9億円(パッケージ7億円ほか)
- ④ コロナ影響 物量減少・・・年間影響額※3の殆どが上期に発生。  
費用対策・・・年間目標※3に対して6割程度の進捗。
- ※2 HPC・・・半導体製造装置用製品

通期 見通しの要点・・・対前期比減収、営業利益・経常利益は減益も当期純利益は微増の見通し(9月公表値から売上・利益を上方修正)

- ① 事業別業績概況(売上高、営業利益)
- 【エネルギーインフラ】・・・売上高・営業赤字は前期並み  
・がいし 国内需要の低迷は継続する中、費用削減等により赤字縮小の見通し。  
・エナジーストレージ 国内外で大口出荷がなく低調。赤字が継続する見通し。
- 【セラミックス】・・・減収・減益  
・自動車関連 下期回復を見込むも、自動車・トラック販売台数減少の影響が大きく、大幅な減収・減益の見通し。
- 【エレクトロニクス】・・・増収、増益  
・電子部品 5G進展による高性能フィルター用ウエハの需要増に加え、データセンター投資の回復を背景としたHDD用圧電素子の需要増により増収・増益の見通し。
- 【プロセステクノロジー】・・・増収・増益  
・HPC 20年3月期を底に、メモリ投資の緩やかな回復基調を受けて増収・増益の見通し。  
・産業プロセス 低レベル放射性廃棄物処理装置の案件進捗等により増収の見通し。
- ② 為替影響: 売上高 △50億円、営業利益 △14億円  
・前期 109円→当期 106円/USD、121円→118円/EUR  
(下期為替前提: 105円/USD、115円/EUR)  
・下期1円当たりの影響: USD(売上高6億円、営業利益 2.1億円)  
EUR(売上高3億円、営業利益△0.2億円)
- ③ コロナ影響(※3) 物量減少・・・売上高 △670億円、営業利益 △410億円  
費用対策・・・ 営業利益 +120億円
- ④ 配当予想 中間10円を決議、期末20円の年間30円を予定。